



Ⅲ 第1期基本計画 各論

1 中心市街地が活性化し、魅力あふれるまち



5つのまちづくり（分野）ごとに、取組（施策）の方向性と具体的な施策を記載しています。

第1項 中心市街地の再生



目標とする姿

子どもから高齢者まで多くの人々が福山駅前に集い、買い物や散歩など自由な時間を楽しむまち

取組の方向性

【現状と課題】

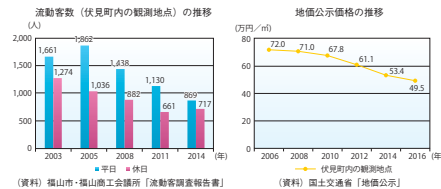
- 福山駅周辺の中心市街地は、郊外型の大規模商業施設の出店やインターネット通信販売等の普及により、空き店舗等の遊休不動産が増加し、流動客数も減少するなど、にぎわいと魅力が失われつつあります。
- 本市では、民間による都市開発事業を促進するとともに、空き店舗対策や市民参加型のイベントの開催など、駅前の再生に努めています。

【今後の方向性】

- 若者や女性の感性、高齢者などの視点も取り入れ、「住む、観る、憩う、学ぶ、働く、集う、そして発信する」など様々な機能の集積により、福山城を始めとした文化ゾーンと一体的に、「都市の顔」としての魅力づくりに取り組めます。
- 少子高齢社会のモデルとなるようなまちづくりをめざし、民間による都市開発事業や遊休不動産のリノベーション等を促進していきます。

項ごとに、5年後にどのようなまちを実現しようとしているのかについて、記載しています。

取組（項）ごとに、現状と課題、今後の方向性を記載しています。



現状と課題に関する過去の実績や関連図表を掲載しています。

数値目標

流動客数²⁰ 平日 869人/現状（2014年）→ 950人/目標（2021年）
休日 717人/現状（2014年）→ 800人/目標（2021年）

目標達成の目安となる代表的な数値を「数値目標」として設定しています。

目標達成のための取組

- 福山駅前の再生
 - 魅力ある都市の玄関口となるよう整備を進めます。
 - 主な取組
 - 民間による都市開発事業や遊休不動産の利活用の促進
 - エリアマネジメント²¹の促進
- 特色ある商業・サービス業、商業空間の創出
 - 特色のある店舗づくりや若者が挑戦しやすい商店街づくりなどを促進し、文化ゾーンを含め来街者の回遊を促すなど、魅力とにぎわいの創出を支援します。
 - 主な取組
 - 商店街のにぎわい創出の支援
- 文化活動の振興（再掲）
 - 文化ゾーンを中心とした魅力とにぎわいの創出に努めます。
 - ⇒詳細は「5 歴史・文化が薫り、スポーツに親しめるまち 第1項 歴史と文化が大切にされるまちづくり」を参照

目標達成のための取組の方向性と、具体的な取組を記載しています。

特に関連する施策は再掲として掲載しています。

必要に応じて、取組（項）に関連する、主な関連計画を掲載しています。



1 福山城公園 2 ふくやま美術館前広場 3 東桜町緑地 4 久松通り商店街

必要に応じて、主な取組に関する写真等を掲載しています。

²⁰ 流動客数調査の調査地点のうち、伏見町内の観測地点における流動客数
²¹ 特定の地域において、住民・事業者・地権者等が連携してオープンカフェイベント、プロモーション活動等を行うことにより、その地域全体の価値を効率的に維持・向上させる民間の主体的な取組